

上智大学ヨーロッパ研究所主催ロシア演劇ドラマ・リーディング

『ゾーヤ・ペーリツのアパート』

開演：2022年2月24日14時30分

作：M・A・ブルガーコフ(秋月準也訳)

演出：西村洋一(日露演劇会議理事)

無料オンライン配信(要事前申込み、締切2/21)

(<https://eipro.jp/sophia/events/view/EU20220224>)



革命後のモスクワ
社会で自由を夢見
た市民を描いた名
作、チェーホフ記
念モスクワ芸術座
上演作品(2016年
小田島雄志・翻訳
戯曲賞受賞作)

◆俳優、スタッフの募集◆
日露演劇会議では日本で紹介されていない戯曲のドラマ・リーディング企画にご協力頂ける俳優を随時募集しています。また、国際演劇交流事業、研究・翻訳出版事業、俳優教育普及事業を進めており、団体の活動メンバーも募集中です。関心のある方は事務局までご連絡ください。

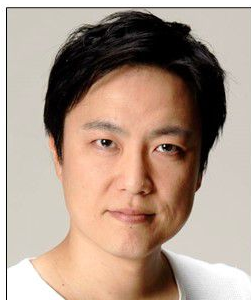
(office-nichiro@irtf.jp)



中村 あさき
フリー



小松原 宏太
演劇企画JOKO



しおつかこうへい
俳優



福井 夏紀
劇団銅鑼



山岡 竜生
フリー



深水 裕子
劇団銅鑼



今井 聡
フリー



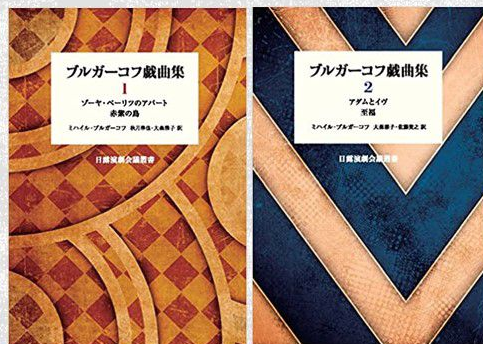
遠藤 鮎喜
劇団昂

上演時間90分 終演後はアフタートークを予定(17時終了予定)

- ・ 登壇者：村田真一(上智大学外国語学部教授)、演出家、出演者他
- ・ 司会：佐藤貴之(日露演劇会議事務局長)

ミハイル・アフナーシエヴィチ・ブルガーコフ(1891-1940)

ウクライナ生まれのロシア語作家。医師として革命後の内戦に従軍した後、モスクワに拠点を移し、創作活動を生涯続けた。モスクワ芸術座やワフタンゴフ劇場に戯曲を書き下ろし、革命後のソ連社会で劇作家としての成功をおさめたが、体制風刺の作風により冷遇。本作は劇作家としての出世作『トゥルビン家の日々』に続く2作目の戯曲。



『ブルガーコフ戯曲集』(1・2)、『評伝・シエプキン』、日露演劇交流報告書RUSSIAN REPORTを取扱中。ご希望の方は日露演劇会議公式HPの申込ページからご連絡ください。



共催：一般社団法人日露演劇会議 後援：演劇企画JOKO、劇団銅鑼、東京俳優生活協同組合